

# 医療と福祉を考える長崎懇談会

医療と福祉を考える長崎懇談会とは

長崎の医療と福祉を考え、守り、よくするために、

さまざまな立場の人が、さまざまな視点で考えていく団体です

## あなたも入会しませんか

年会費は、個人は1口500円、団体は1口1,000円です。

ご入会いただくと、①会報「医療と福祉」と催しの案内をお送り致します。

②『医療と福祉のてびき』を会員価格で購入できます。

この機会にぜひご入会いただき、長崎の医療と福祉の問題を一緒に考えてみませんか。

お問い合わせ・申込先) **医療と福祉を考える長崎懇談会**

連絡先) 長崎県保険医協会

〒850-0056 長崎市恵美須町2-3-2F

TEL 095-825-3829 / FAX 095-825-3893

**ホームページでも入会受付中です。**

講演会のお知らせや活動報告なども随時掲載しています。

<http://www2.nim.co.jp/iryoutofukushi/index.html>

★QRコード、または「いふくこん」で検索★



### <会則>

1. 本会の名称は「医療と福祉を考える長崎懇談会」とします。
2. 本会は地域の医療と福祉を共に考え、守り、改善させることを目的とします。
3. 本会は会の目的にしたがって次の事業を行います。
  - (1) 地域の医療・福祉の問題を共通の認識とするための学習、討論、講演会、シンポジウムなど。
  - (2) 医療と福祉の問題を広く市民に知らせるための宣伝、広報。
  - (3) その他、目標達成に必要な事業。
4. 本会は毎年一回総会を開きます。  
本会は、世話人、常任世話人、代表世話人をおきます。  
世話人は、総会において選出されます。  
常任世話人、代表世話人は世話人の中から互選します。  
また、本会に事務局をおきます。
5. 本会の財政は、参加・賛同する個人と団体からの会費【個人会費1口年額500円※1、団体会費1口年額1,000円(減額会費500円※2)】、寄付金、およびその他の収入によってまかなわれます。  
※1※2 2009年度(1~12月)分会費から適用  
※2 減額会費(団体会員)の適用は、団体の事情を考慮し、常任世話人会で決める

## この1年間の活動

### ◆第31回定期総会（2021年11月25日）

\*一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき事務局長の山本倫子氏が「ひとり親家庭の現状と支援状況」とのテーマでオンライン講演し、36名が視聴しました。県内のひとり親家庭での困難事例や貧困の連鎖など多岐に亘る問題点を述べ、「見えない貧困」や「構造的な貧困」の根本的な解決に向けて実施している支援について講演しました。



講師の山本倫子氏

### ◆第15回学習懇談会（2022年6月23日）

<現在、講演動画を公開中>

\*「スマホ依存症 親が知らない子どもの実態と対処法」とのテーマで、長崎市・山の手クリニック院長の中谷晃先生がオンラインで講演し、80名が視聴しました。スマホ依存・ゲーム依存と脳への影響や依存になる心理的背景を述べ、その対処法と根本治療について「本人の意思で行動を変えるよう援助すること」と説明。ゲーム依存の子には愛着に問題を抱える子が多いとして、母親とスマホの問題にも言及しました。



講師の中谷晃先生

### ◆会報「医療と福祉」の発行

第73号（2022年1月） 6ページ

\*「第31期定期総会記念講演概要報告」「会員紹介」「リレー投稿…就業支援で居場所づくり▶合同会社楽々工房管理責任者 田中弘法」

第74号（2022年9月） 8ページ

\*「医療と福祉のてびき2022発行」「学習懇談会『スマホ依存症』概要」「会員紹介」「75歳以上の医療費窓口負担2割化へ」「『生理の貧困』生涯にわたる女性の健康支援へ」「リレー投稿…男性育児休暇に関する課題とNPO法人パパノミクスの活動▶NPO法人パパノミクス代表理事 小森 剛」

### ◆『改訂版 医療と福祉のてびき 2022』を発行しました

【普及】

\*2022年5月に改訂版を3,600部発行。

\*2022年9月30日現在で2,297冊普及し（贈呈含む）、在庫は1,303冊となりました。

\*現在、下記の特別価格で販売中です。

定価2,000円を **会員価格 1,500円、学生価格 1,200円**

\*ホームページにも関連資料（「令和元年7月1日からの障害者総合支援法対象疾病一覧」「難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病」）や正誤表を掲載中



### ◆常任世話人会

<第1回 2021年11月18日>

<第2回 2022年 3月 1日>

<第3回 2022年 6月30日>

<第4回 2022年 9月28日>



## (参考) この5年間は、こんな活動をしました

### 定期総会記念講演

年月	テーマ	講師
2015年10月	「再飲酒に絶望しないために」	独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター精神科医 吉森 智香子氏
2016年11月	「障害を価値に変える『バリアバリュー』 ～わたしを変えた3つのヒント～」	(株)ミライロ・日本ユニバーサルマナー協会講師 岸田 ひろ実氏
2017年10月	「子どもの貧困ー長崎県の現状から考えるー」	長崎大学教育学部准教授 小西 祐馬氏
2018年10月	「アドバンス・ケア・プランニング ご存じですか？ ～自分が望む医療とケアのために～」	医療法人ホーム・ホスピス中尾クリニック 理事長・院長 中尾 勘一郎氏
2019年10月	「セクシュアリティを超えて～多様性が彩る未来～」	『Take it ! 虹』代表 儀間 由里香

\* 2020年は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止

### 学習懇談会・シンポジウムなど

年月	テーマ	講師
2016年6月	「発達障害について～発達障害診療の現場より～」	長崎市障害福祉センター診療所長 松崎 淳子氏
2017年5月	「発達障害について～療育の現場から～」	長崎市障害福祉センター診療所 所長 松崎 淳子氏 リハ療育課長・作業療法士 山口 博文氏
2018年6月	「おとなの発達症（発達障害） ～その「困難さ」と「強み」について～」	長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療副部長 今村 明氏
2019年6月	「おい中村くん～ひきこもりのボランティア体験記 ～著者対談トーク～」	著者 中村 秀治氏 対談 ふきのとう理事長 山北真由美氏
2021年2月	「地域生活を支える医療のあり方」	一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院理事長 栗原 正紀氏

\* 2020年は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止

## 活動計画（案）



### 1. 改訂版『医療と福祉のてびき』の普及

2022年5月に発行した改訂版『医療と福祉のてびき 2022』の普及に努めます。またホームページ掲載の「てびき」関連資料や追補版などの特設サイトの内容を充実させます。

### 2. 学習懇談会・講演会などの開催

長崎県内の医療・福祉について、地域で困っていることやその時々具体的な問題を取り上げて学習懇談会や講演会を開催し、理解を深めます。また、公開中の講演会の動画を多くの方が視聴できるよう広くアピールします。

### 3. 会報「医療と福祉」の発行

医療と福祉をめぐる動きや問題を広く市民に知らせるため、年2回(1月・8月)発行します。学習懇談会や講演会の内容を紙面でも紹介するとともに、県内の情報・会員の声などを掲載します。とくに発達障害や介護問題、生活保護や障害者の問題などをとりあげ、リレー投稿も引き続き充実させます。また、関連するイベントの情報も掲載します。

### 4. その他

ホームページをリニューアルし、充実させます。団体会員や関連団体のホームページとリンクを貼るなどさらに活用をはかります。

## メンバーを紹介します

### 団体会員 24団体 (五十音順)

一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院	てんかん協会
一般社団法人長崎県ろうあ福祉協会	長崎肝臓友の会
一般社団法人ほの企画 就労継続支援B型事業所 ほのちゃん家	長崎県高等学校教職員組合
NPO 法人 長崎県腎臓病患者連絡協議会	長崎健康友の会連絡会
NPO 法人 長崎県難病連絡協議会	長崎県商工団体連合会
NPO 法人 らいぶながさき	長崎県保険医協会
肢体障害者協会	長崎県民主医療機関連合会
肢体不自由児父母の会	長崎県民主医療機関連合会労働組合
社会福祉法人野の花	長崎原爆被災者協議会
新日本婦人の会長崎県本部	長崎市生活と健康を守る会
生活協同組合ララコープ	長崎市役所従業員組合
全国手話通訳問題研究会長崎支部	日本科学者会議長崎支部

### 個人会員 79名

## 役員体制 (案)



#### ◇代表世話人

本田 孝也 (長崎県保険医協会会長、医療法人社団三和会 本田内科医院院長)

#### ◇世話人

井上 正勝 (グループホームききょう管理者)  
柿田富美枝 (財団法人長崎原爆被災者協議会 事務局長)  
下村千枝子 (長崎リハビリテーション病院 医師)  
中尾勘一郎 (医療法人ホーム・ホスピス中尾クリニック 理事長・院長)  
原崎 健司 (生活協同組合ララコープ 組合員活動部総括マネジャー)  
福田多恵子 (介護老人保健施設うぐいすの丘 相談室長)  
吉田 睦 (新日本婦人の会長崎県本部 常任委員)  
米満恭一郎 (真珠園療養所 精神保健福祉士)

※任期途中でも随時世話人を補充していきます。

## 31期(2021年10月1日～2022年9月30日) 会計決算

### 【一般会計】

<収入>

	第31期予算	第31期決算	備考
会費 個人	43,000	48,500	2023年以降の会費(11人、11,500円)含む
団体	210,000	195,000	18団体
寄付	0	27	
雑収入	0	5	利息(十八親和銀行)
収入小計	253,000	243,532	
繰越金	437,504	437,504	第30期より
合計	690,504	681,036	

※個人会費500円(2008年度までは1,000円)、団体会費1,000円以上

<支出>

事業費	第31期予算	第31期決算	
総会費	100,000	65,587	第31回総会
事業費	300,000	149,281	会報73～74号発行、学習懇談会
事務費	60,000	33,091	払込料金、送料等
予備費	230,504	0	
支出小計	690,504	247,959	
繰越金	0	433,077	
合計	690,504	681,036	

### 【特別会計】「医療と福祉のてびき」

<収入>

	第31期決算	備考
販売	1,972,825	2022年版2250冊(特別価格含む)+送料、他
繰越金	953,840	第30期より
合計	2,926,665	

<支出>

	第31期決算	備考
印刷代	2,336,400	
送代	17,725	郵便、佐川急便 2016年版、2022年版
PR代	28,188	案内用紙代
編集委員謝礼	150,000	
校正送料・受取人払	3,628	
繰越金	390,724	
合計	2,926,665	

現金	56,080	一般会計	433,077
十八銀行	720,778	特別会計	390,724
郵便振替	46,943		
合計	823,801	合計	823,801

# 監査報告書

医療と福祉を考える長崎懇談会

代表世話人 本田 孝也 様

2022年 10月 21日

監査 前田 志乃



医療と福祉を考える長崎懇談会の第31期（2021年10月1日～2022年9月30日）の会計について監査を実施しました。その結果、帳簿、証拠書類等適正に処理されていることを認めます。

以上、報告いたします。

## 32期(2022年10月1日～2023年9月30日) 予算案

### 【一般会計】

<収入>

	第31期決算	第32期予算	備考
会費 個人	48,500	40,000	2022年未納分+2023年分会費
団体	195,000	190,000	2023年分会費
寄付	27	0	
雑収入	5	0	
収入小計	243,532	230,000	
繰越金	437,504	433,077	第31期より
合計	681,036	663,077	

<支出>

	第31期決算	第32期予算	備考
総会費	65,587	150,000	第32回総会
事業費	149,281	300,000	企画開催費、学習懇談会費、会報発行(2回)
事務費	33,091	60,000	払込手数料、切手代、封筒代等
予備費	0	153,077	
支出小計	247,959	663,077	
繰越金	433,077	0	
合計	681,036	663,077	